

Minami Kyushu Junior College Syllabus

科目名称	倫理学					英語コミュニケーション (○)
英文科目名称	Ethics					留 学 (○)
科目コード	511151	授業形態	講義	単位数	2	ビジネス・キャリア (○)
教員氏名	別府 俊紘		年次配当	1年次	前期	ホテル・観光 (○)
						オフィス情報 (○)
						医療事務・医療秘書 (○)
						スポーツ健康 (○)
						大学編入 (○)
						グローバル (○)
授業概要及び 授業方法	①青年期の課題と人間としての在り方生き方 ②現代と倫理 ③日本人の思想・倫理とその背景 ④国際社会に生きる日本人としての自覚 講義だけでなく小論文の作成、グループ討議、発表等を入れて、資料判断力や表現力を育成する。					
関連する科目	異文化理解		学習成果との関係		① ⑤	
授業計画	1. 青年期の意義 2. 青年期の課題と生き方 3. 哲学と人間 4. 宗教と人間 5. 芸術と人間 6. 日本人の精神風土 7. 外来思想と日本の伝統思想 8. 西洋思想と日本人の近代化 9. 国際社会に生きる日本人の自覚 10. 人間の尊厳 11. 民主社会の倫理 12. 新たな人間像の模索 13. 自然や科学技術と人間のかかわり 14. 民主社会の成熟のために 15. 現代の課題を考える					
授業時間外の学習	人間としての在り方生き方に関して、次の課題を作成し提出させる。 「父や母の願い」と題して、自分の両親や祖父母を含めて、各々の体験談や考え方・願いを書いてもらったり、聞き取り調査をして各々1,000字程度にまとめて最後に提出する。					
授業の到達目標	・日本国憲法の基本原則の一つである人間尊重の精神に基づいて、多感な青年期における人格形成と、人間としての在り方生き方について理解と思索を深める。 ・市民社会の有為な形成者であり、また、良識ある公民としての実践的意欲と態度を身につける。					
課題に対する フィードバック	課題発表・研究レポートにコメントを記入して学生に返却をする。		評価方法		試験成績(30%)、課題発表(30%)、研究レポート(40%) 評価基準は到達目標に基づく	
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。					
参考書	特になし					
備考	特になし					